

子ども学の源流を次世代につなぐ

幼児の教育

[特集] 問い直そう、保育の中のあたりまえのこと
幼児期は「準備期」？

[シリーズ] 子どもが育つ場所を訪ねて
仙台市 東二番丁幼稚園

[報告]
「子どもの自己肯定感」

冬 2013
2014

since 1901



「ブロッコリー、

こんなに大きくなつた」

「(さわると) 何か、気持ちいい!」

目 次

表紙の図柄は、お茶の水女子大学附属幼稚園内にある
ステンドグラスの模様をデザイン化したものです。

【写真】

子どもの情景

1

【目次 プロローグ】

特集テーマ「準備期」に思う 浜口順子

2

【特集】

問い合わせ、保育の中のあたりまえのこと 12

幼児期は「準備期」?

インタビュー 矢野智司氏 (聞き手) 伊集院理子・浜口順子

4

今が、一番 松木正子

13

人生の土台 ~六歳の春に向かって~

向山陽子

17

「たいしたもんやなあ」 柳瀬洋美

21

【シリーズ】

子どもが育つ場所を訪ねて

地域に支えられ、地域に根ざした、歴史の長い幼稚園 東二番丁幼稚園

上坂元絵里

24

【実践研究】

私の保育ノートから

「乗り越えよう!」その気持ちを支える

掛 志穂

30

【保育エッセイ】

子どもたちの「現在」を考える ④

「いま保育者である人」が「いま子どもである人」に対する不可避の「責務」とは?

本田和子

34

【からだ考】

食べる・つながる・育つ

食べて育つということ —中学校教諭の目から—

松岡文子

38

【子ども学探訪】

編集顧問 倉橋惣三とキンダーブック ⑧

「広がる世界、伸びる日本」というメッセージ

—昭和8~9年の「比較」を主題にした3編—

浜口順子

42

〔海外レポート〕

イタリア保育“おもいきって”参観記(5)

外国人の親を持つ子どもをめぐって 金澤妙子 ━━━━━━ 48

〔研究〕

『幼稚園』の原著者ベルタ・ロンゲのルーツをたどる 3

ベルタの波乱の後半生 ディーター・レドナック · 翻訳:ベルガ一有希子 · 解説:大戸美也子 ━━━━━━ 53

〔報告〕

「子どもの自己肯定感」 安治陽子 ━━━━━━ 60

〔アーカイブス〕

幼児の教育110年の散策

「幼稚園から小学校へ—幼稚園と小学校幼年級の眞の連結—」

—第23巻第4号(1923年4月)より— ━━━━━━ 66

〔目録〕

『幼児の教育』 平成25年 総目録 ━━━━━━ 70

〔子ども学のひろば〕

学会 研修会情報・読者投稿・エピローグ他 ━━━━━━ 71

プロローグ

特集テーマ「準備期」に思う

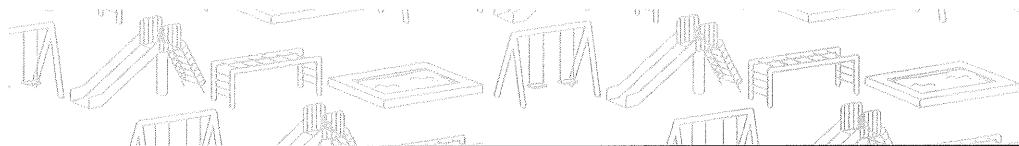
浜口順子

備えあれば憂いなし。転ばぬ先の杖。おそらく「覆水盆に返らず、あの時ああしていれば」と悔しい思いをした人間たちが考え出した知恵なのである。

しかし、人生の先の方を見た人が後ろから来る者に「だから言ったのに」と備えなかつことを責めるとすれば、それは教育という営みの中でおかしなことになる。覆水盆に返らないように見える子どもがいるということだろうか。子どもが「覆水」状態に見える時、その教育者のほうにこそ大変な危機が訪れている。「こんなお子さんになってしまったのは……」と、家庭を非難

したり、以前通っていた学校や園を責めたり、はたまた障害名のせいにしたり……。準備を怠っていたのでは? と過去を責めるのは、教育者の責任の放棄であるし、逆に言えば、教育の一番「おいしい」ところがわかっていない。

教育における準備の目線は、いつも今から未来に向かうべきなのではないか。子どもの現在を犠牲にして未来に賭けるのではない。今の子どもが輝くことが、未来につながると信じてかかわる。どうなるかは、大人にも見えない。備えあっても憂いはある。しかし準備はやはり希望でもある。



エピローグ

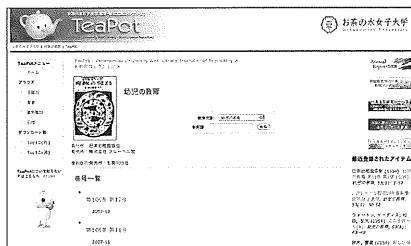
「シェーナウの想い～自然エネルギー社会を子どもたちへ」という映画を見た。ドイツ南西部の小さな町の住民たちが、自分たちの力で電力供給会社をつくったドキュメンタリーである。たくさんの困難の中、彼らがああまで頑張ったのは、ある種の「心地よさ」ゆえかと、ふと思った。やるがよいと思ったことをし続けるためにアイデアを出し合い、やれることをやれる形で実行していく。その「心地よさ」が、人々の行動や想いを根底で支えたのではないか、と。

世に、子を育ててこなかった文化・社会は無い。邦題になぞり「世界の想い～生きやすい社会を子どもたちへ」とでもいうべき願いを、すでに共通に持ち得ている者同士、心地よさに支えられて生を慈しむような働きを、小さくとも私たちも重ねていけたら、と思う。(KT)

幼児の教育 バックナンバーを WEBページで公開中

「幼児の教育」または「TeaPot」で

検索



<http://teapot.lib.ocha.ac.jp/ocha/handle/10083/3705/bulletin/>

明治34年発行の創刊号から、現在、平成23年発行の第110巻第4号までご覧になれます。

なお、自由投稿、「ひろば」への情報などもお待ちしております。
nyuyoji-info@cc.ocha.ac.jp まで。

次号予告 幼児の教育 春号 2014年3月刊行予定

新企画、新連載がスタート！ 充実した内容でお届けします。

新特集 保育から世界が見えてくる
－「安全」を考える－ 木下勇氏・當銀玲子氏・中島千恵氏

新連載 保育エッセイ 檀沢良彦氏

新コーナー 古典を読む 第1回 皆川美恵子氏

※タイトル・内容が変更になる場合もあります。

幼児の教育 冬号 第113巻 第1号

平成26年1月1日発行

編集発行人／浜口順子

編集担当／田中恭子

発行所／日本幼稚園協会

〒112-8610

東京都文京区大塚2-1-1

お茶の水女子大学附属幼稚園内

発売所／株式会社フレーベル館

電話:03-5395-6604(編集)

振替／00190-2-19640

印 刷 所／図書印刷株式会社

定 價／750円(本体715円)

©日本幼稚園協会 2014 Printed in Japan

編集委員／上坂元絵里

菊地知子

高橋陽子

宮里勝美

編集協力／フレーベル館

● ご購入のお問い合わせは、フレーベル館までお願いします。03-5395-6613(営業) ●



くらしの素顔

保育の場の子どもたち

秋田喜代美

保育の場の子どもたち

素顔 くらしの



10931

ポイント1

秋田喜代美先生による新鮮な保育の視点

著者が園の生活に立会い、保育の本質を探った第一部には、日々の保育のヒントとなるエッセンスが満載です。

ポイント2

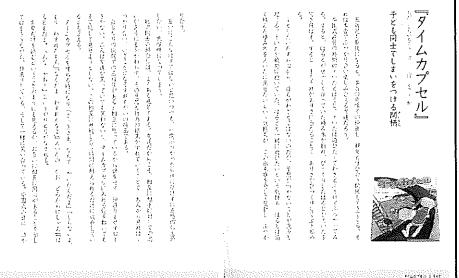
園の生活を描いた絵本の読み解きが面白い！

書き下ろしの第二部では、定番～新作まで12冊の絵本を研究者の視点で読み解きます。普段読み聞かせている絵本の奥深さに触れて、保育の幅がぐ～んと広がります！

保育実践の現場から著者が感じ考えた園のくらしについての13の思索と、園生活を描いた12冊の絵本の解説より、目の前の子どもの素顔から、園のくらしのあり方、保育の本質を問い合わせることができます。

- 著者／秋田喜代美
- 価格／1,365円（税込）
- サイズ／21×15cm
- ページ数／152ページ

**「幼児の教育」
園のくらしを育む**
連載第1回～13回までを収録！



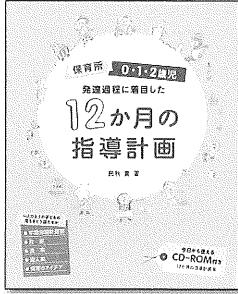
保育所 発達段階に着目した 12か月の指導計画

民秋 言／著

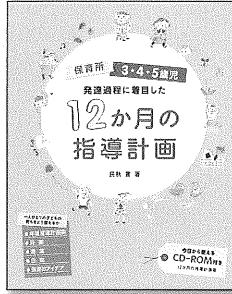
年齢に応じ、個から集団までを見据えた内容

『発達過程に着目した指導計画作成のすべて』の実用版。保育にすぐに役立つ

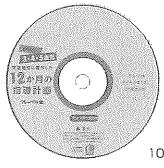
毎月の指導計画案と保育のポイントを掲載。 [26×21cm 336ページ 定価各3,150円(税込)]



保育書
0・1・2歳児
発達過程に着目した
12か月の指導計画

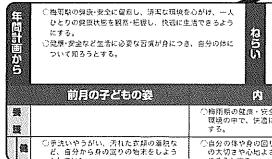


保育書
3・4・5歳児
発達過程に着目した
12か月の指導計画



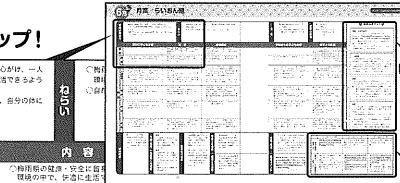
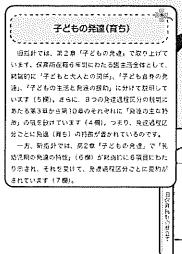
すべての指導計画案の文例を掲載したCD-ROM付き！※for Windows Windows7対応

発達過程を押さえて 指導計画をパワーアップ！



新・旧指針の相補関係から保育を把握！

旧指針と補い合いながら、
新指針を詳しく解説。



保育のポイント
指導計画案の養護と
教育のポイントをていねいに説明。保育
のヒントが満載！

発達過程表の抜粹

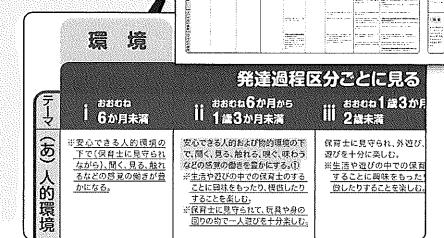
指導計画表の作成にかかわる発達過程表の該当部分を抜粋。

既存（生前の段階）
一人ひとりの子どもが決して生活できるようにするには、平穏の環境や安全な遊びなど、充実した経験を積む。日本のおきな保育研究員による解説も充実。また、子どもたちの言葉をほぞるような視点がある。
また、子どもたちの言葉をほぞるような視点がある。

おむね4歳
自然のまま
環境
現状の見方
自然などの身近な事象に開心とともに、遊びや生活に取り入れようとする。

新・旧指針の「内容」をまとめたオリジナル発達過程表！

「発達（育ち）の連続性」と「発達過程区分」の視点で、新・旧指針の「内容」を並べて作ったオリジナル発達過程表。指導計画の作成に役立つ！



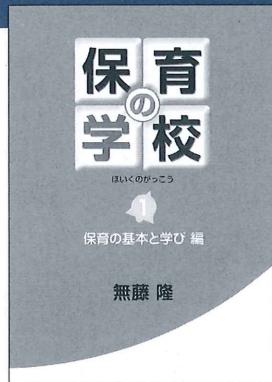
好評発売中

保育の学校

無藤 隆／著

21×15cm 136ページ 定価各1,365円(税込)

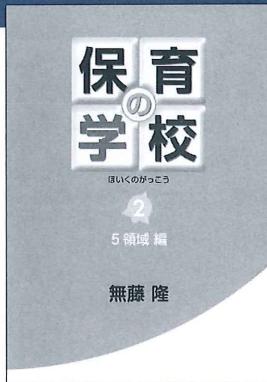
平易な言葉でわかりやすく。
保育をふりかえり、考え、
深めていくための16講義。



保育の基本と学び 編

10931

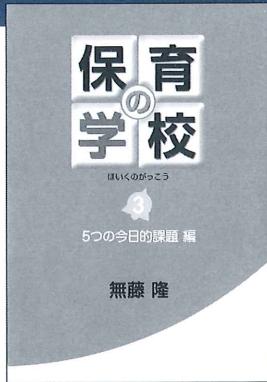
養護と教育の一体的保育、教育課程・保育課程と指導計画や、数・图形、文字などについての講義。



5領域 編

10932

「健康」「環境」「人間関係」「言葉」「表現」の5領域と、体验の多様性と関連性についての講義。



5つの今日的課題 編

10933

子育て支援、評価、小学校との連携、特別支援、教育、保育の5つの今日的課題についての講義。

予習

講義

まとめ

小検定

う言葉が入っているわけです。

◆図1 教育と福祉の関係

```

graph TD
    A[福祉] <--> B[児童福祉はその中間]
    B <--> C[教育]
    C --> D[積極的]
    
```

子どもの最善の利益

ところで、子どもの最善の利益という表現についてですが、この、最

▲図解で
わかりやすく！

2) 「子どもの最善の利益」を英語ではどう表記するでしょう。選びなさい。

1. good interest 2. better interest 3. best interest

3) a, b に入る言葉を選択肢から選びなさい。

保育所は、(a) でなければならない、という表現をしています。教育を勉強する、この、この、(b) という言葉がややこしい言葉であるということを学ばざるを得ないのですけれど、例えば、教育要領においては、幼稚園は教育の場なのですね。教育要領中に、(b) という言葉はあるにはあるのですが、(a) という表現はないと思いま

電子版もあります！

キンダーブックのフレーベル館

くわしくはフレーベル館代理店・特約店・支社・支店・営業所
または本社営業推進部(03) 5395-6608にお問い合わせください。